

## 第3回

# 御坊市介護保険事業計画策定委員会

### 資料 Ⅰ. 御坊市介護保険給付実績の状況

令和5年12月20日(水)  
御坊市介護福祉課

# 各種調査の位置づけ

## 介護保険給付実績の状況

- 介護保険の給付状況の把握



## 介護予防・日常生活圏域二エズ調査

- 主に軽度者・一般高齢者の把握。
- 日常生活圏域ごとの地域の課題を把握。
- 市内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない方。

## 在宅介護実態調査

- 主に要介護者の把握。
- 在宅介護の継続や介護者の就労継続状況などを把握。
- 市内在住の要支援・要介護認定を受けた方。

## 第9期御坊市介護保険事業計画

策定に向けた検討資料

# Ⅰ. 御坊市介護保険給付実績の状況

～2023年4月実績を中心に～

# 基本的な介護費用構造

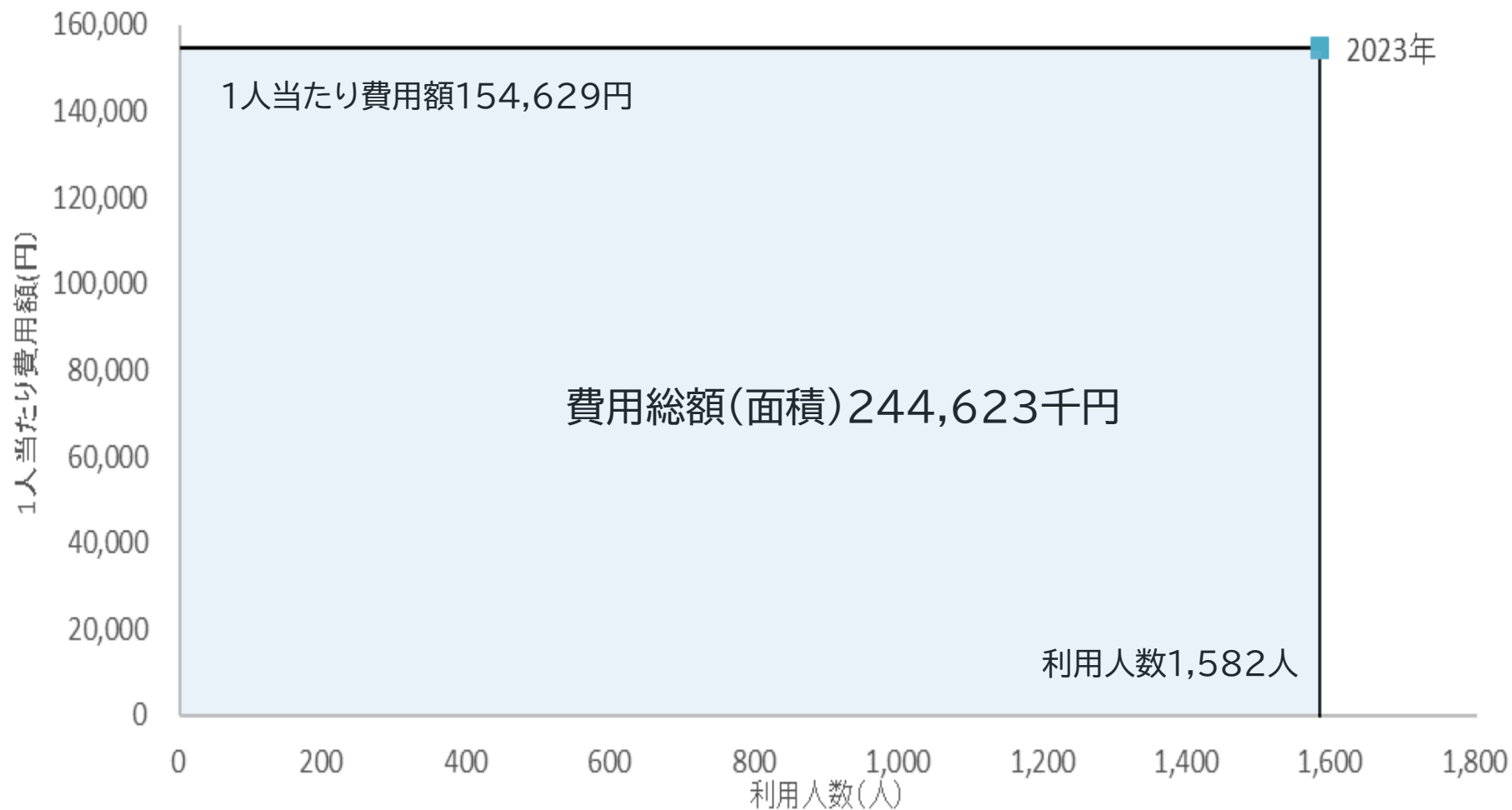
---

# 介護費用構造

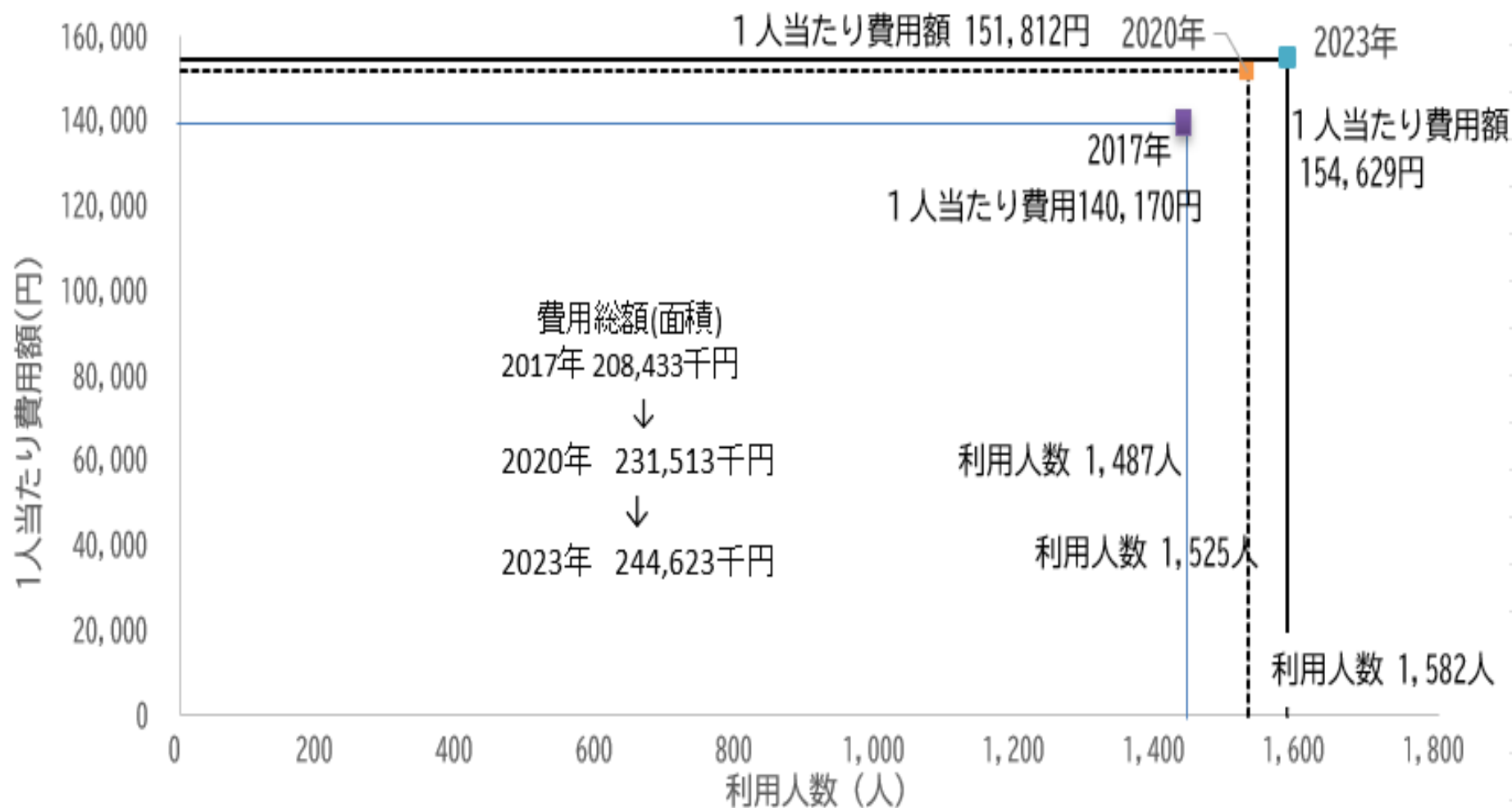
	介護費用総額 (千円)	利用人数 (人)	1人当たり 費用 (円)
御坊市	244, 623	1, 582	154, 629
和歌山県	8, 892, 064	57, 912	153, 544
全国	928, 295, 245	6, 027, 050	154, 021

厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」2023年4月時点を元に加工

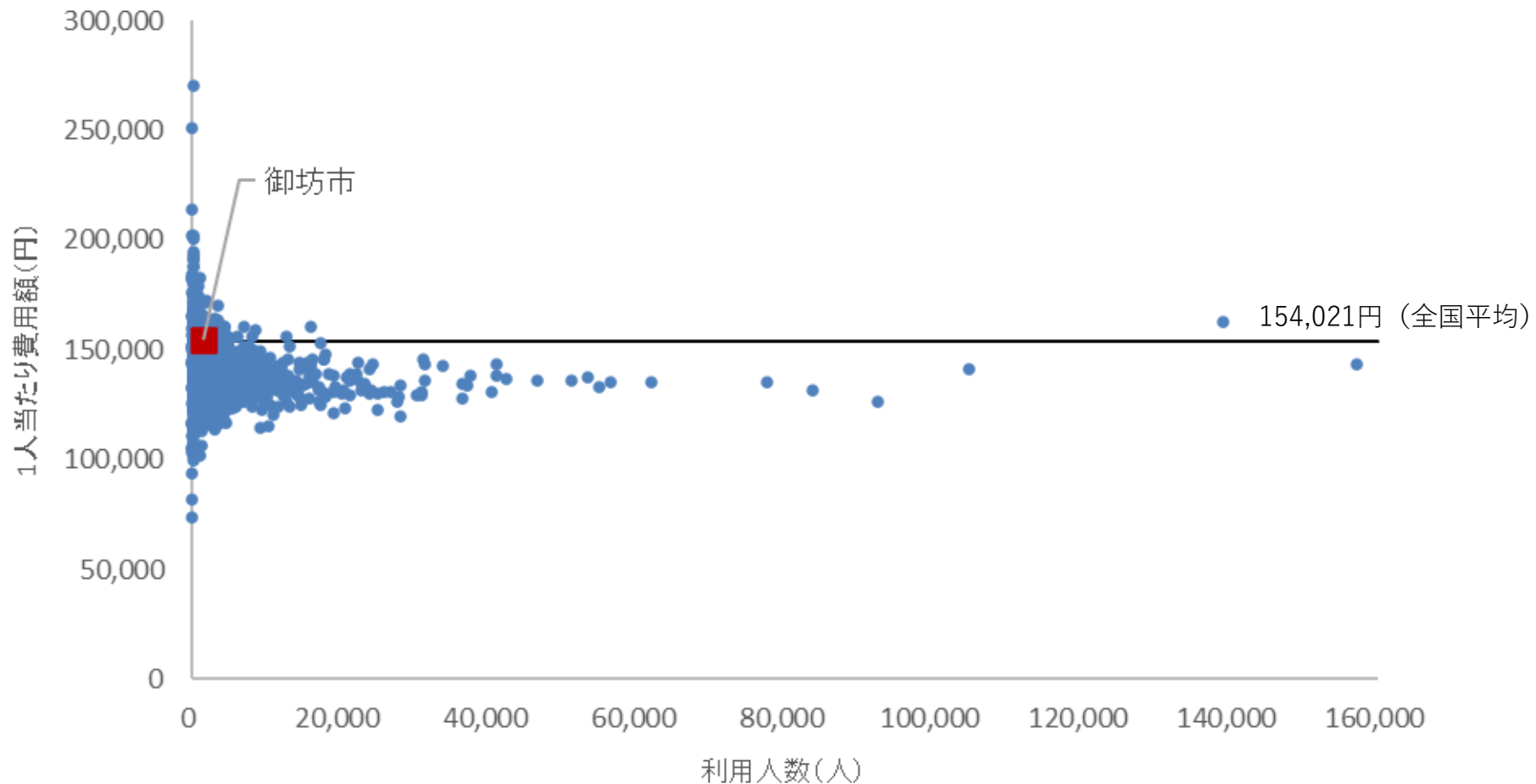
# 介護費用構造



# 介護費用構造比較（2017年度と2020年度と2023年度）



# 全国保険者の介護費用構造



厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」2023年4月時点を元に加工作



# 施設・在宅別の介護費用構造

---

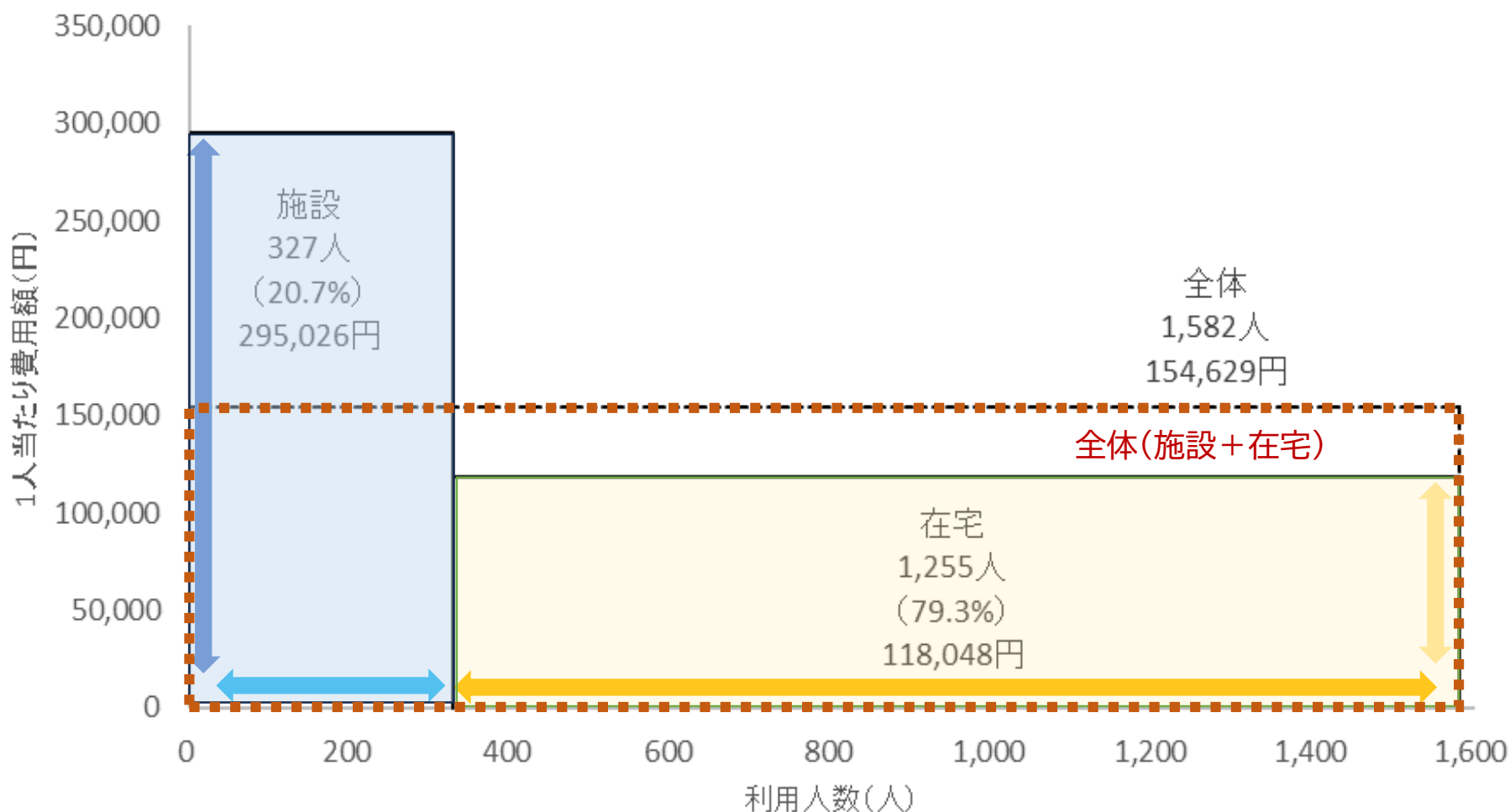
※ 「施設」とは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院  
「在宅」とは上記「施設」以外を指します。

# 施設・在宅別の介護費用構造

		介護費用総額(千円)		利用人数(人)		1人当たり 費用額(円)
			割合		割合	
御坊市	全体	244,623	100.0%	1,582	100.0%	154,629
	施設	96,474	39.4%	327	20.7%	295,026
	在宅	148,150	60.6%	1,255	79.3%	118,048
和歌山県	全体	8,892,064	100.0%	57,912	100.0%	153,544
	施設	2,692,992	30.3%	9,014	15.6%	298,757
	在宅	6,199,072	69.7%	48,898	84.4%	126,776
全国	全体	928,295,245	100.0%	6,027,050	100.0%	154,021
	施設	294,477,823	31.7%	954,294	15.8%	308,582
	在宅	633,817,422	68.3%	5,072,756	84.2%	124,945

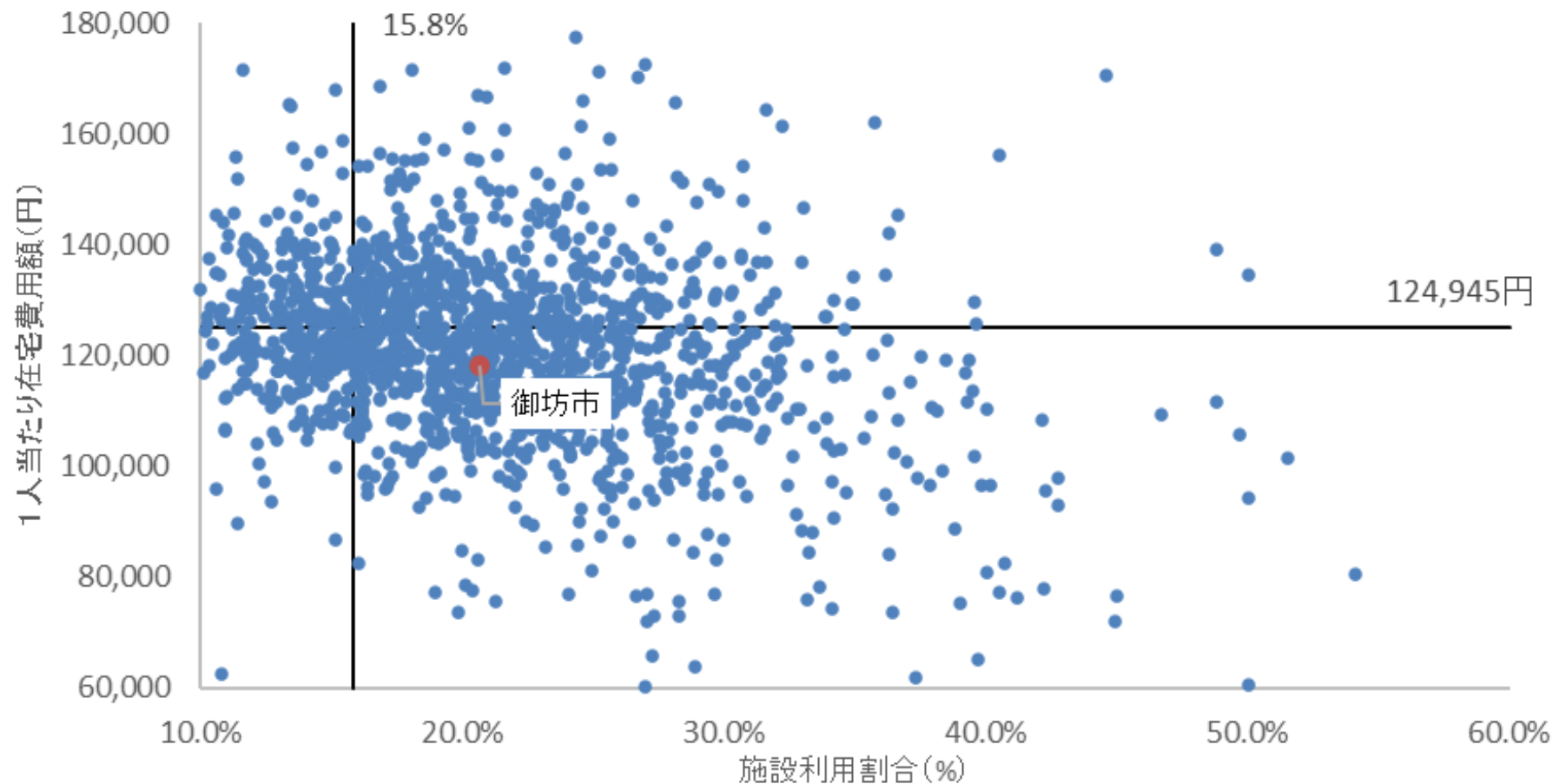
厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」2023年4月時点を元に加工

# 施設・在宅別の介護費用構造



厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」2023年4月時点を元に加工

# 施設利用者割合と1人当たり在宅費用額の分布



# 施設・在宅別の介護費用構造のポイント まとめ

- 本市の介護費用額は、全国・和歌山県と比べて、施設費用額の割合が高く、在宅費用額の割合が低い。
- 本市の利用人数の割合は、全国・和歌山県と比べて、施設利用者の割合が高く、在宅利用者の割合が低い。
- 1人当たり在宅費用額が全国・和歌山県と比べて低い。
- 全国保険者（市町村）と比べて、本市では、施設利用者の割合が高く、1人当たり在宅費用額が低い傾向にある。

# 在宅医療資源の現状

- 在宅療養を支える訪問看護ステーション数、訪問看護利用者数は最も少なく、訪問看護ステーションは県平均の約1/3程度と少ない
- 在宅療養支援歯科診療所も県平均の1/3と少ない

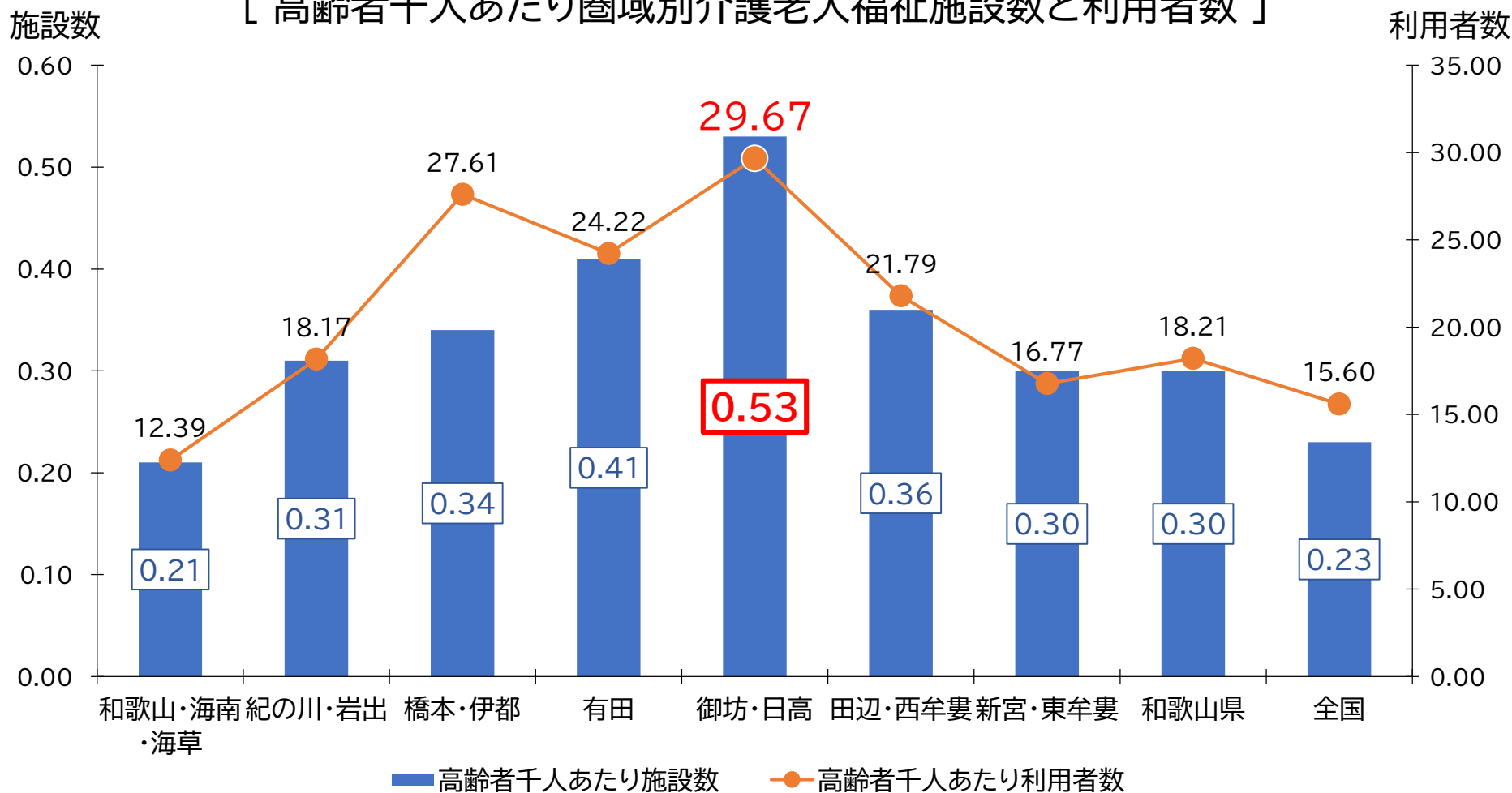
[ 高齢者千人あたりの在宅医療資源の圏域別比較 ]

	和歌山・ 海南・海草	紀の川・ 岩出	橋本・伊都	有田	御坊・ 日高	田辺・ 西牟婁	新宮・ 東牟婁	和歌山県	全国
在宅療養支援病院	0.10	0.06	0.00	0.08	0.00	0.02	0.00	0.06	0.04
在宅療養支援診療所	0.76	0.59	0.61	0.12	0.44	0.33	0.34	0.56	0.39
在宅療養支援歯科診療所	0.16	0.18	0.17	0.16	0.05	0.17	0.11	0.15	0.32
在宅医療支援薬局	0.68	0.52	0.77	0.41	0.73	0.41	0.37	0.59	0.43
認知症サポート医(人数)	0.25	0.34	0.30	0.41	0.53	0.31	0.41	0.32	0.28
一般診療所	3.69	3.33	3.03	2.96	3.10	3.01	2.77	3.32	2.88
訪問看護ステーション	0.62	0.59	0.30	0.37	0.19	0.57	0.52	0.52	0.31
訪問看護(利用者数)	18.09	17.83	15.70	16.36	13.26	42.08	20.81	20.86	16.34

# 介護老人福祉施設の整備状況

- 圏域別の施設数は県内で最も多く、必然的に施設利用者数も多くなっている。

〔高齢者千人あたり圏域別介護老人福祉施設数と利用者数〕



# 施設の利用状況

---

※ 「施設」とは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院を指します。

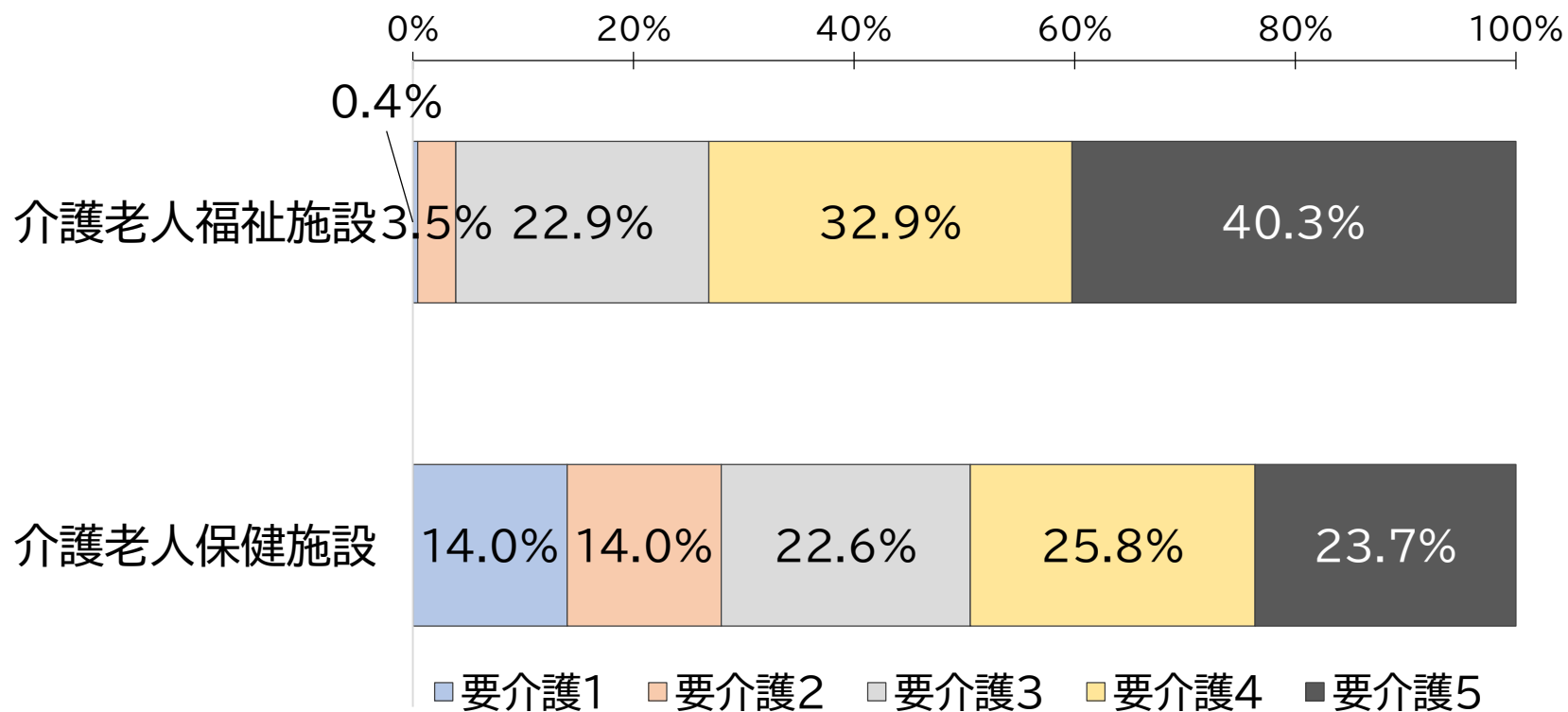


# 施設種類別の利用者の状況

	介護費用総額(千円)		利用人数(人)		1人当たり 費用額(円)
		割合		割合	
介護老人福祉施設	68,770	70.9%	231	70.9%	297,707
介護老人保健施設	27,487	28.3%	93	28.5%	295,560
介護医療院	762	0.8%	2	0.6%	381,180
合計	97,020	100.0%	326	100.0%	297,607

「介護保険事業[月別]実績分析報告書」2023年4月時点：御坊市

# 施設利用者の要介護度分布



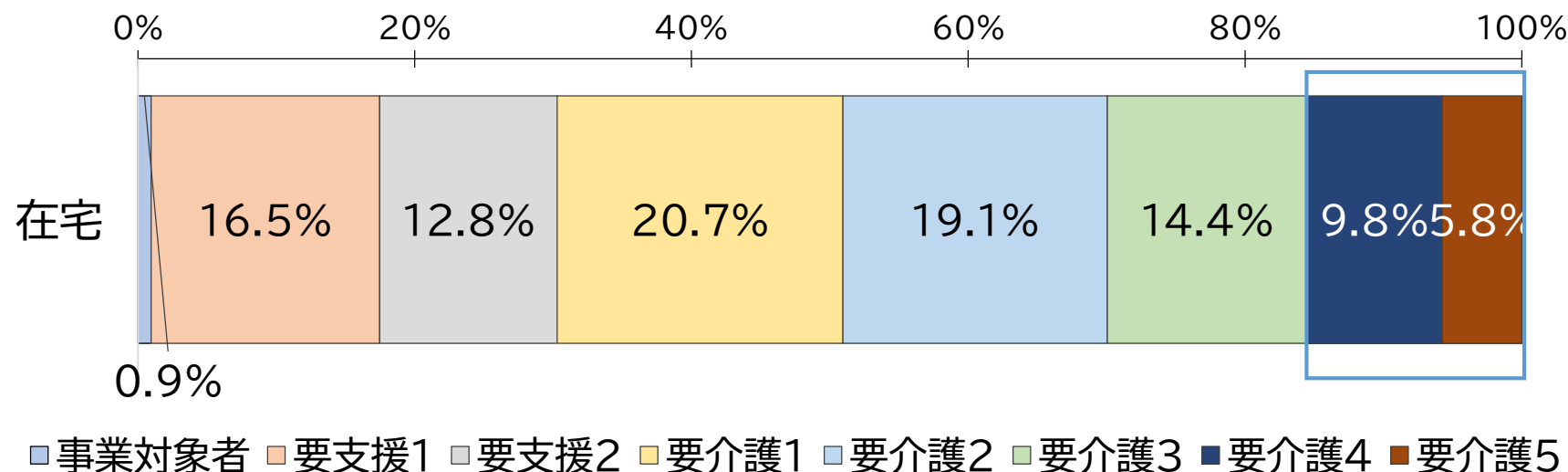
「介護保険事業[月別]実績分析報告書」2023年4月時点：御坊市

# 在宅の利用状況

---

# 在宅の「1人当たり在宅費用額」に影響を及ぼす要因

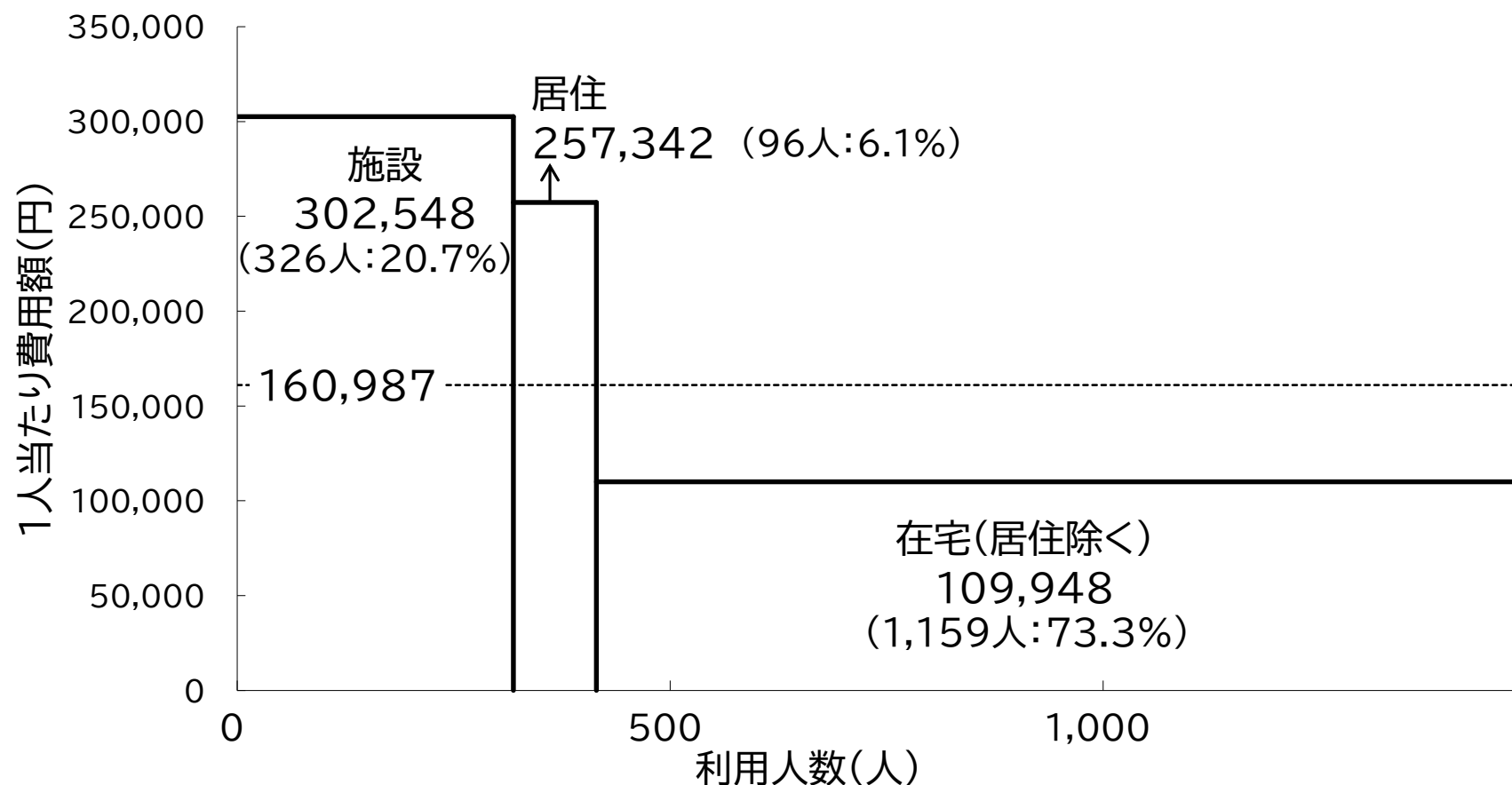
## 要因①：在宅サービスの要介護度分布



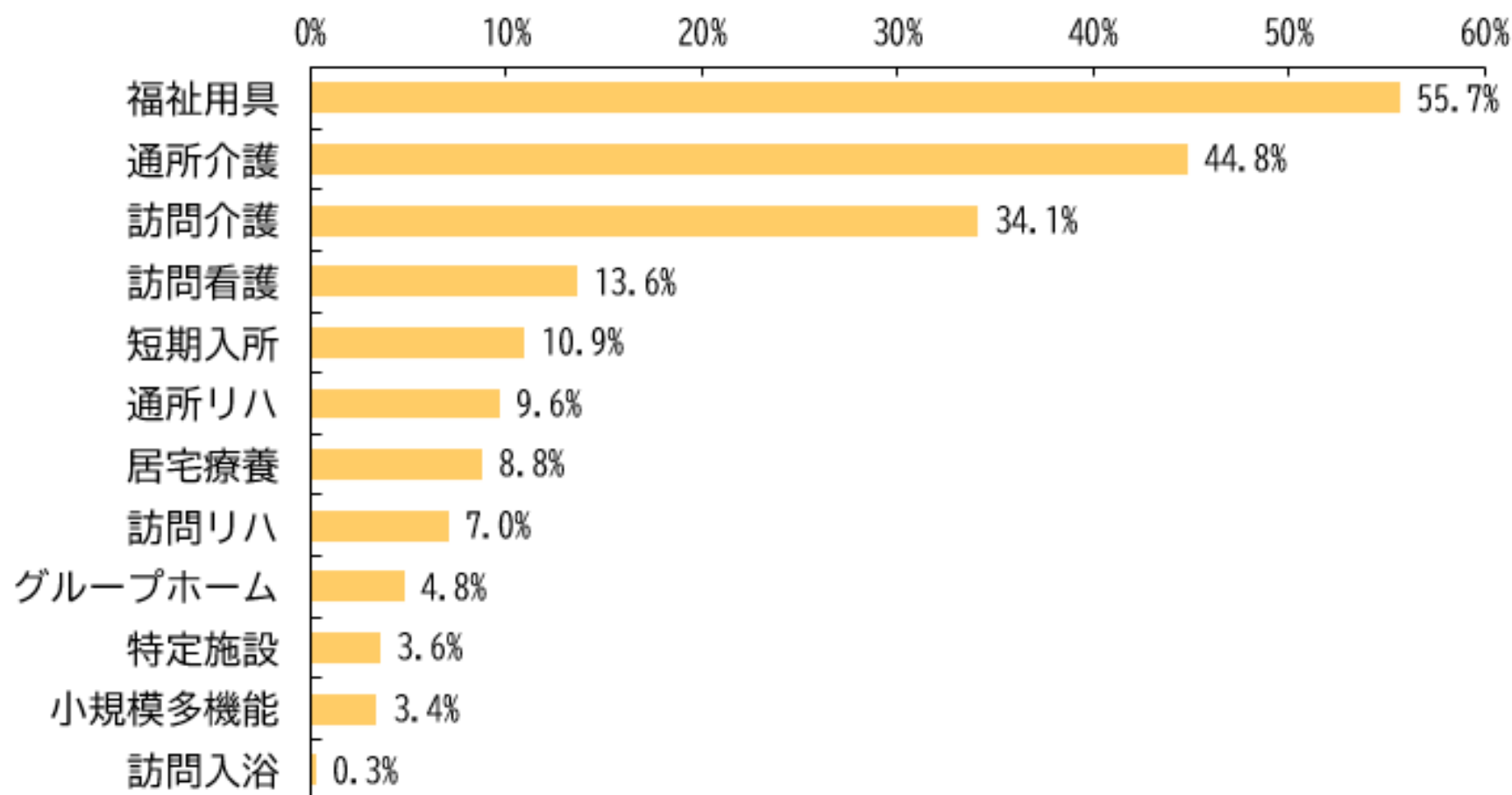
「介護保険事業[月別]実績分析報告書」2023年4月時点：御坊市

# 在宅の「1人当たり在宅費用額」に影響を及ぼす要因

## 要因②：居住系サービスの利用状況

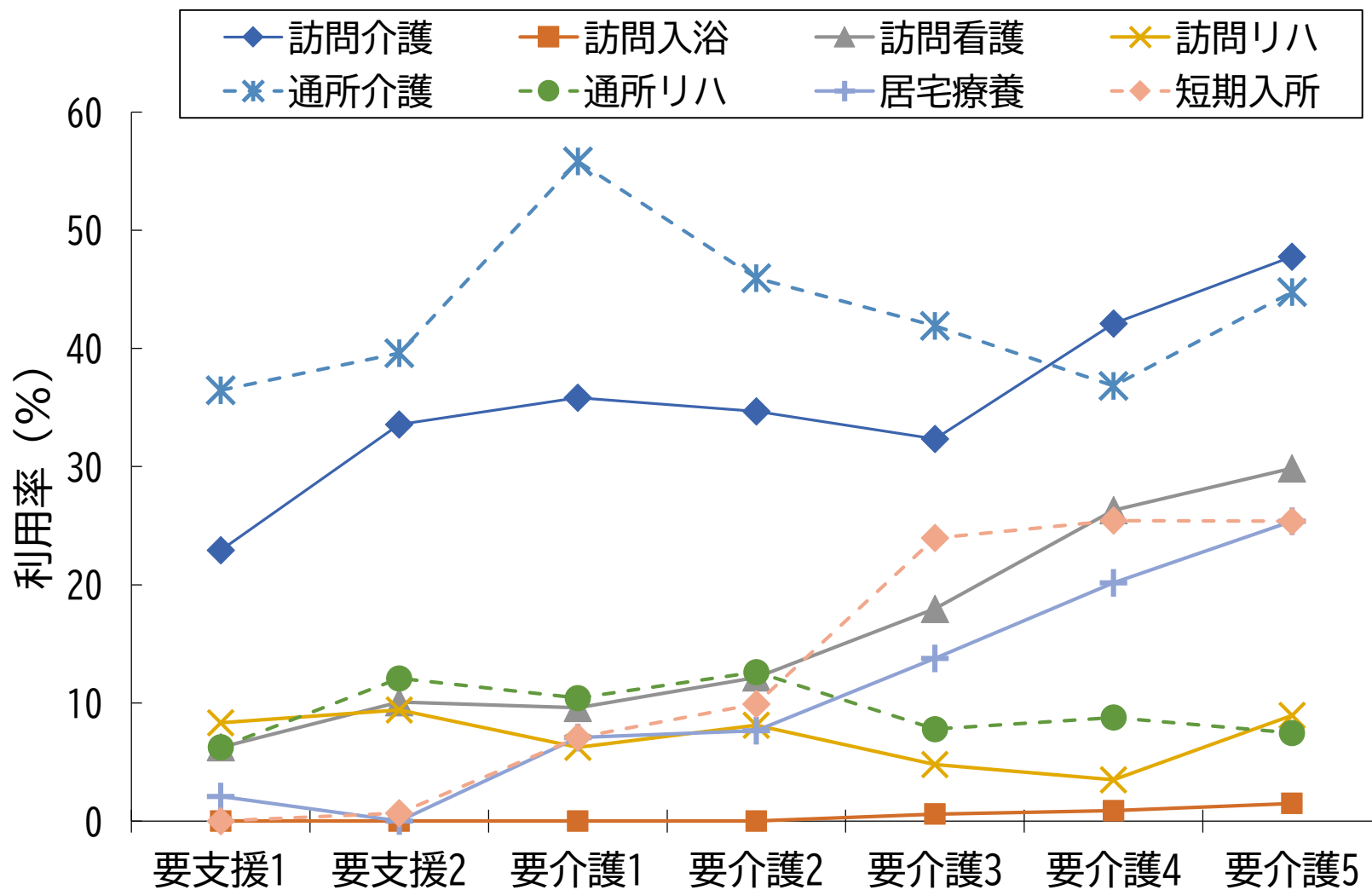


# 在宅サービス別の利用者割合



「介護保険事業[月別]実績分析報告書」2023年4月時点：御坊市

# 主要在宅サービス別の利用者割合（要介護度別）



# 在宅サービス利用状況のポイント まとめ

- 「1人当たり在宅費用額」に影響を与える要因として、「要介護度分布」と「居住系サービスの利用状況」の2つがあげられる。
- 在宅における「重度者（要介護4・5）」の割合が低い。  
（在宅サービスでは重度者を支えることが困難な状況がみられる）
- 軽度者（要支援1・2）は、訪問介護、通所介護の利用が中心になっている。
- 要介護1の方は、通所介護の利用率が非常に高い。
- 重度者は、訪問介護や通所介護の利用率が高い。
- 重度者は、他と比べて短期入所、訪問看護、居宅療養管理指導が高めである。



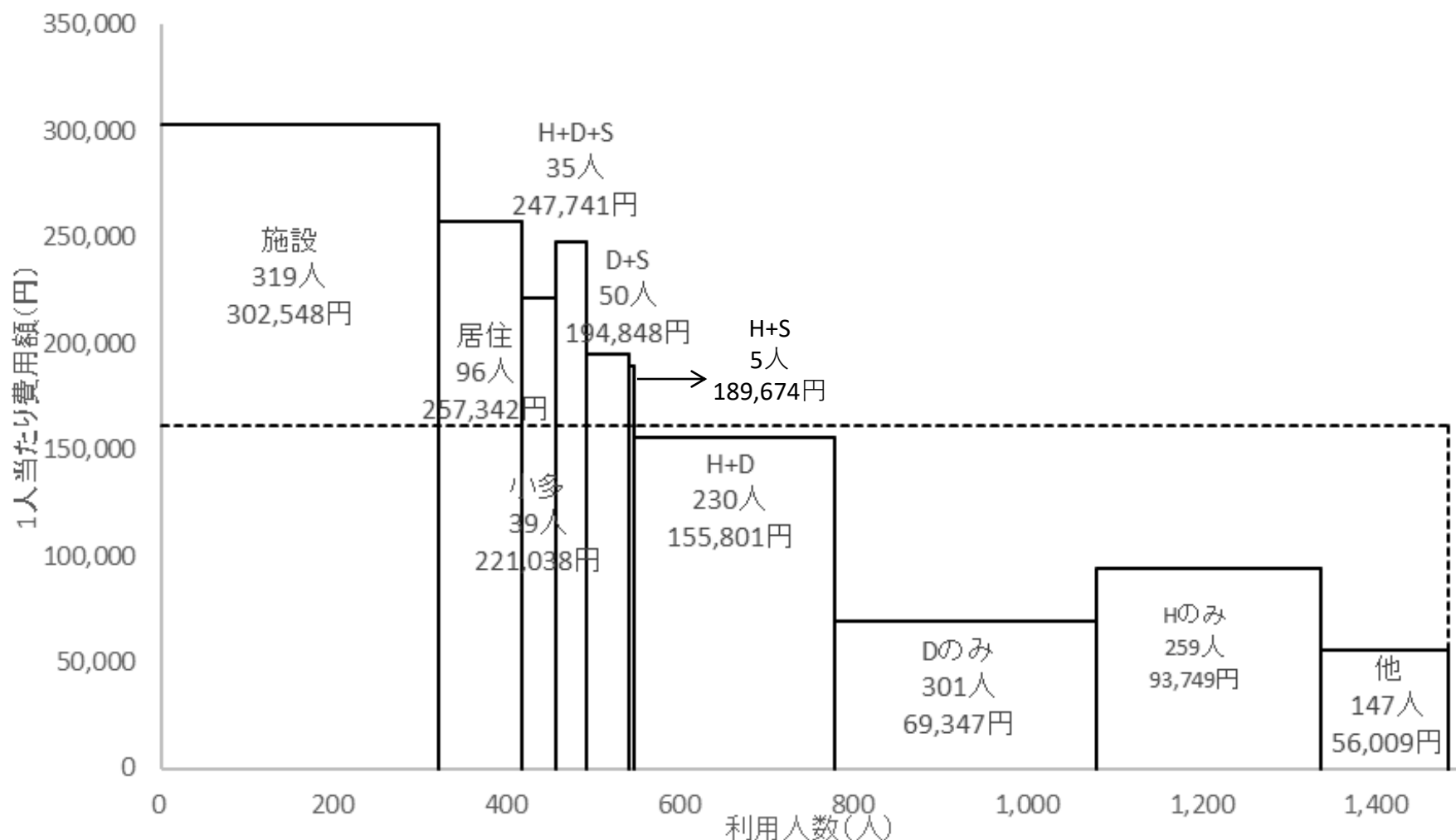
# サービスパッケージによる 介護費用構造

---

# サービスパッケージの概要

表記	サービス機能	介護保険サービス
施設	施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人福祉施設</li> <li>・介護療養型医療施設</li> <li>・介護医療院</li> <li>・介護老人保健施設</li> <li>・地域密着型介護老人福祉施設</li> </ul>
居住	居住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型共同生活介護</li> <li>・特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)</li> </ul>
小多	小規模多機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護、複合サービス</li> </ul>
H	訪問型サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護</li> <li>・夜間訪問介護</li> <li>・訪問入浴</li> <li>・訪問看護</li> <li>・訪問リハビリ</li> <li>・居宅療養管理指導</li> </ul>
D	通所型サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護</li> <li>・通所リハビリ</li> <li>・認知症デイ</li> <li>・地域密着型デイ</li> </ul>
S	短期滞在型サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所生活介護</li> <li>・短期入所生活リハビリ</li> </ul>
他	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具貸与・購入</li> <li>・住宅改修</li> </ul>

# サービスパッケージによる介護費用構造



# 日常生活自立度による4区分（障害像）

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している

II：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる

III：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする

IV：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする

M：著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

J：何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する

A：屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない

B：屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ

C：1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する

		認知症自立度					
		自立	I	II	III	IV	M
寝たきり度	J	A群		B群			
	A						
	B	C群		D群			
	C						

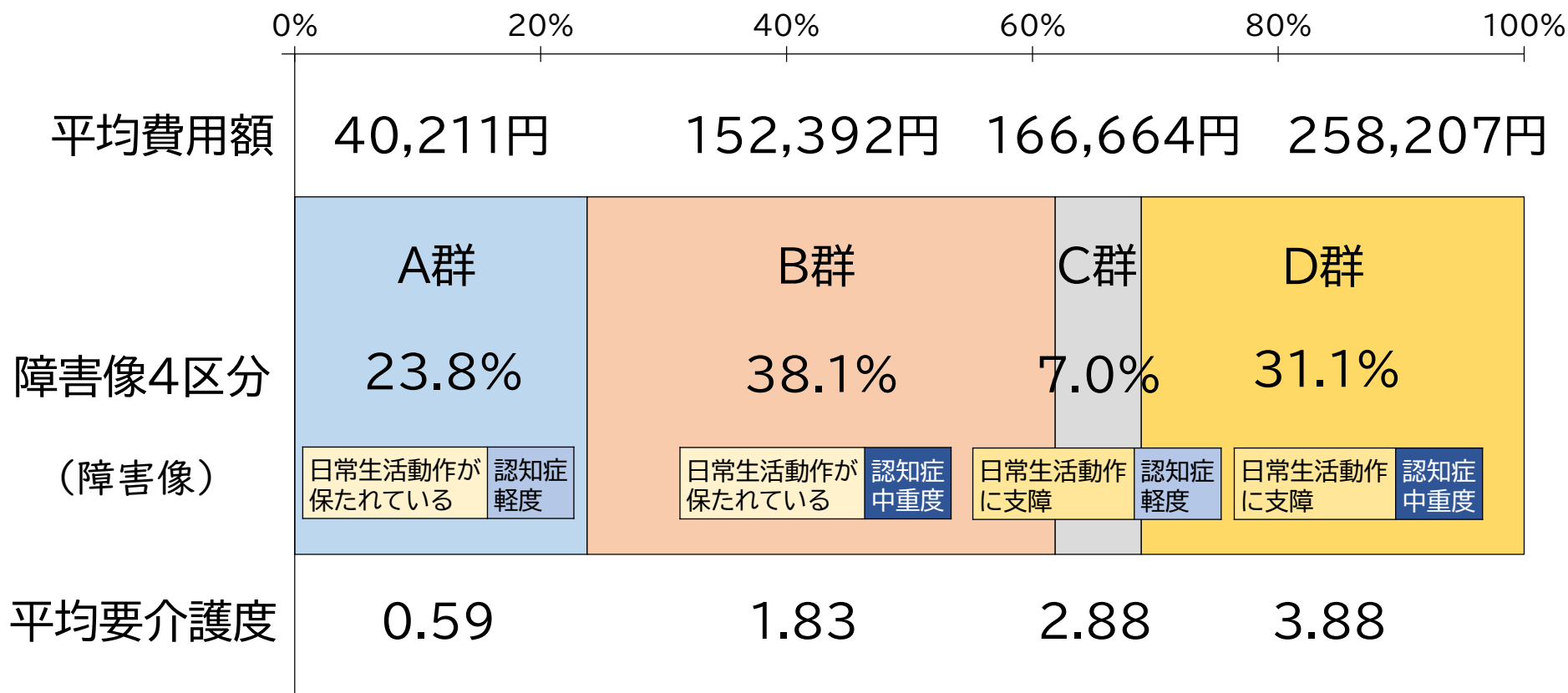
A群 比較的日常生活動作が保たれている認知症軽度者（自立含む）

B群 比較的日常生活動作が保たれている認知症中重度者

C群 日常生活動作に支障を来している認知症軽度者（自立含む）

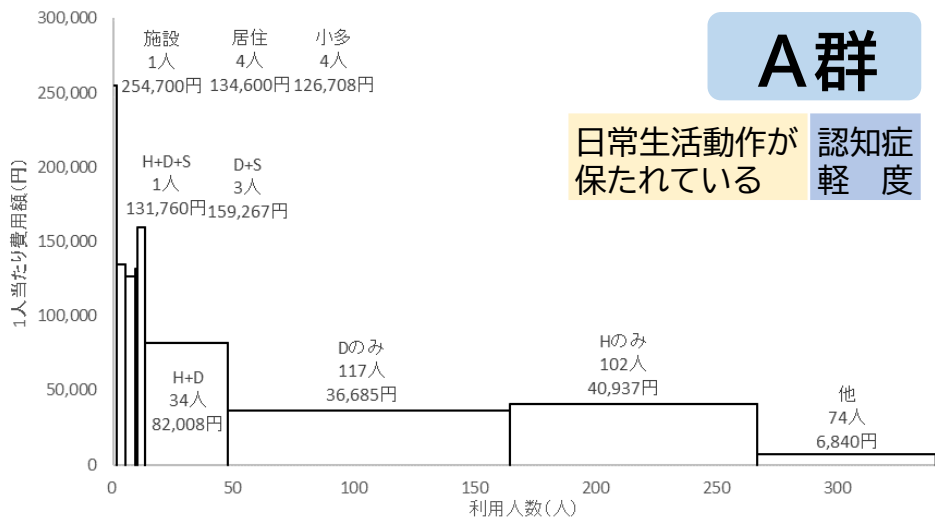
D群 日常生活動作に支障を来している認知症中重度者

# 障害像4区分別の人数割合等

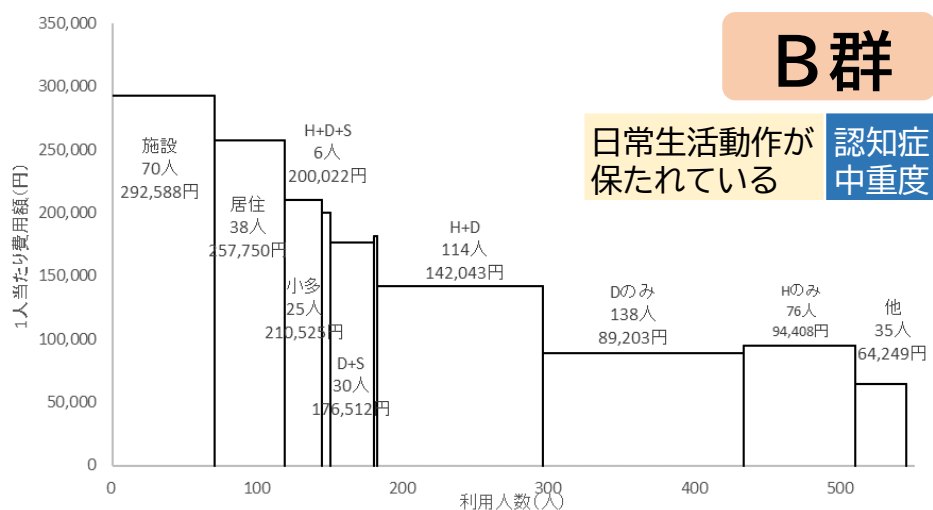


# 群別のサービスパッケージによる介護費用構造

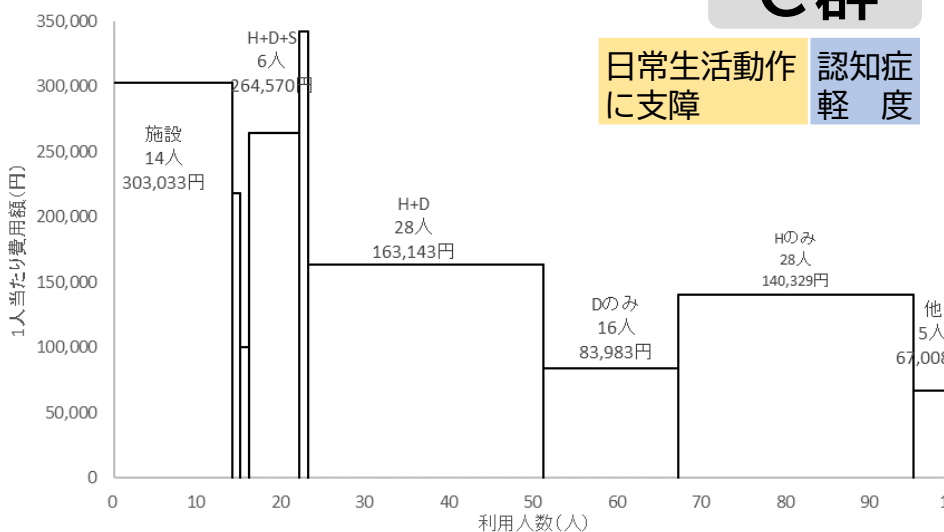
## A群



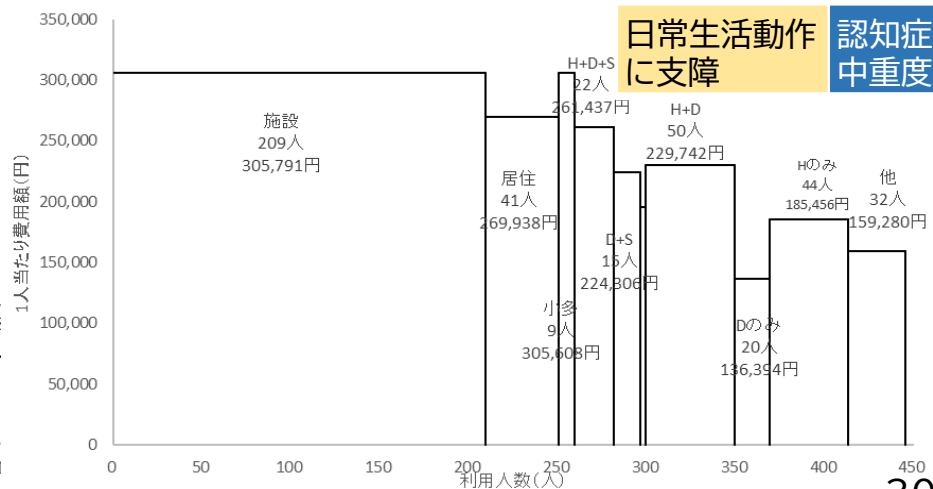
## B群



## C群



## D群

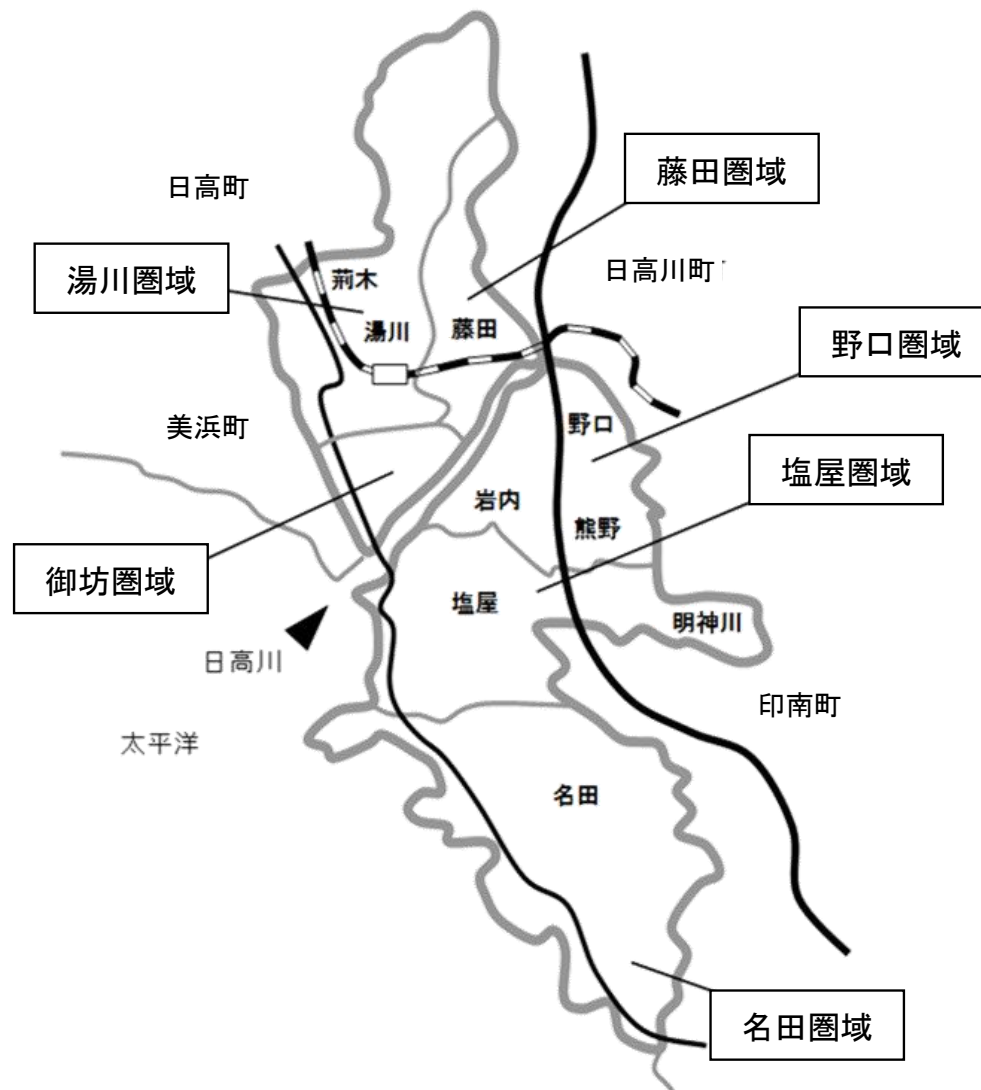


# 日常生活圏域別 基本的な介護費用構造

---

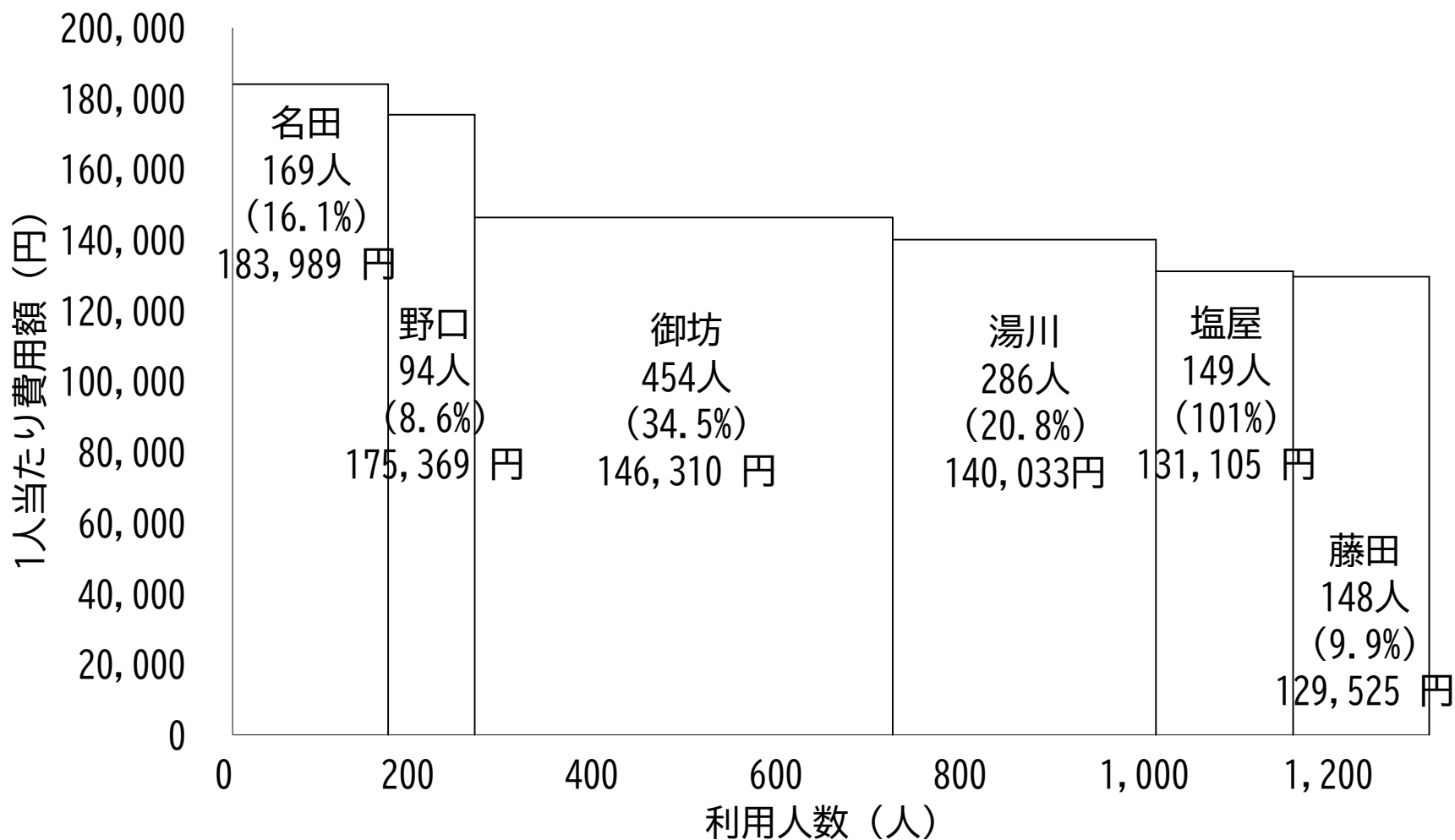
※市外の施設・居住系利用者は、圏域データが突合できていない。

# 御坊市の日常生活圏域

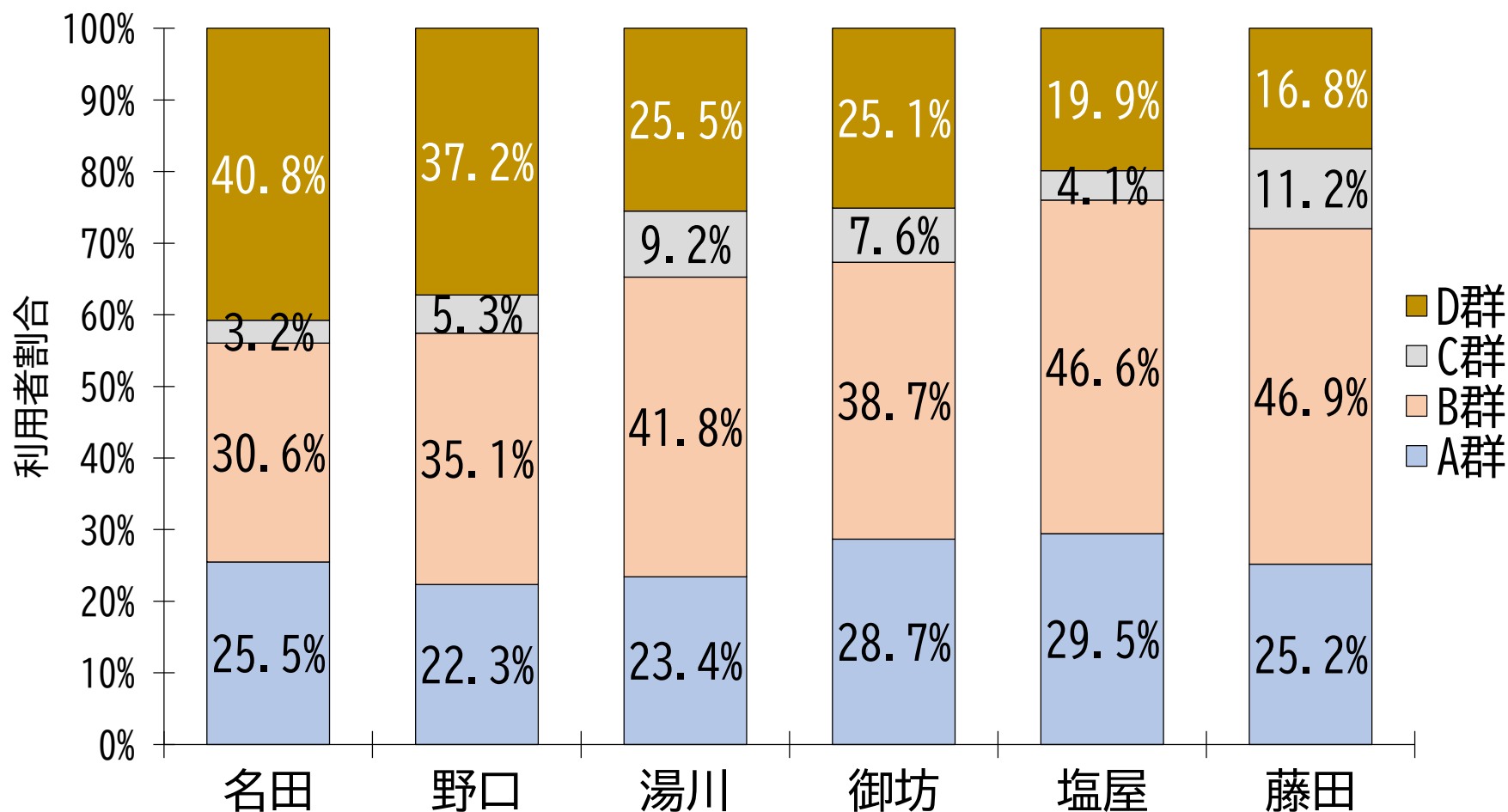




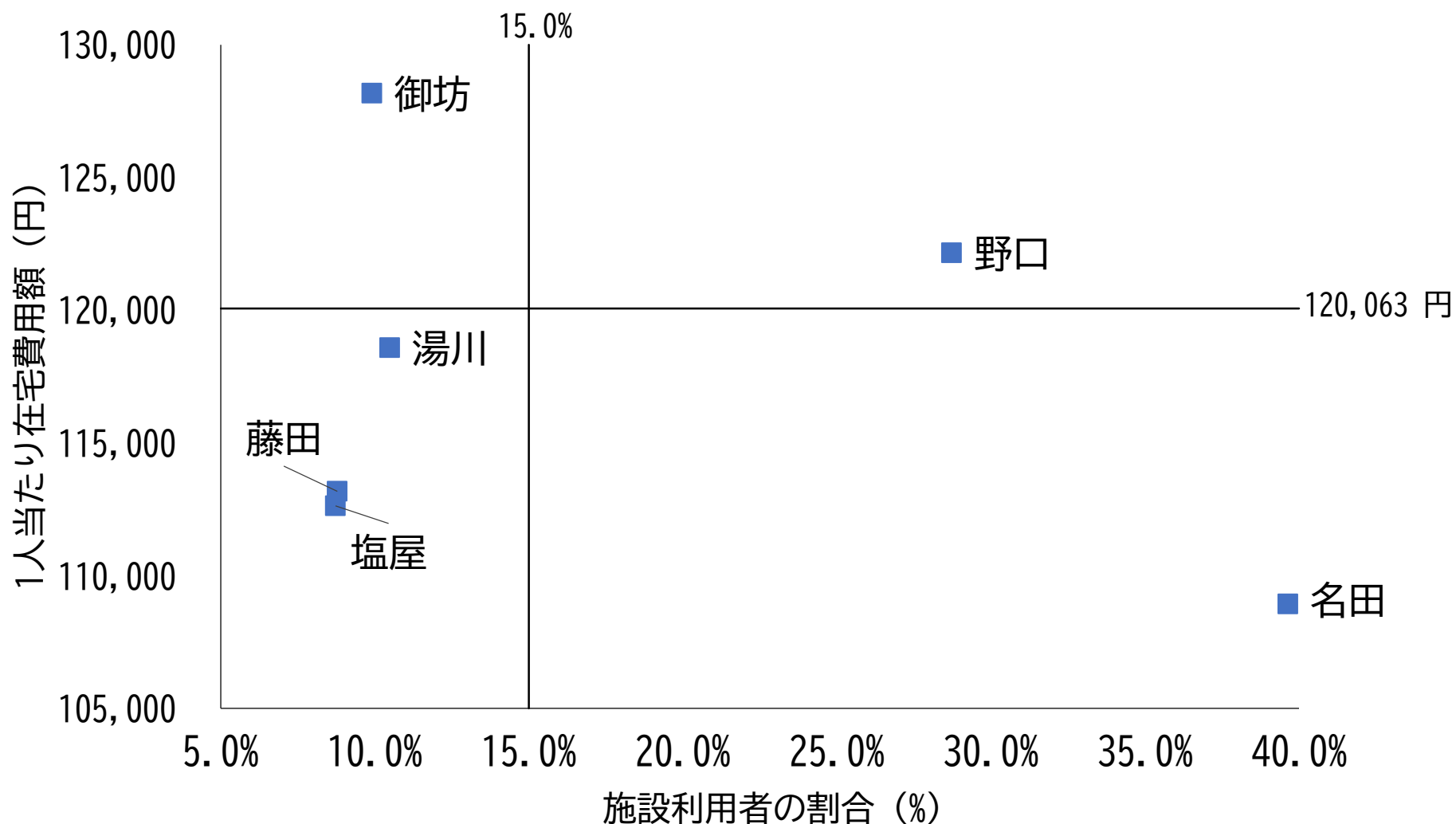
# 圏域別の「基本的な介護費用構造」



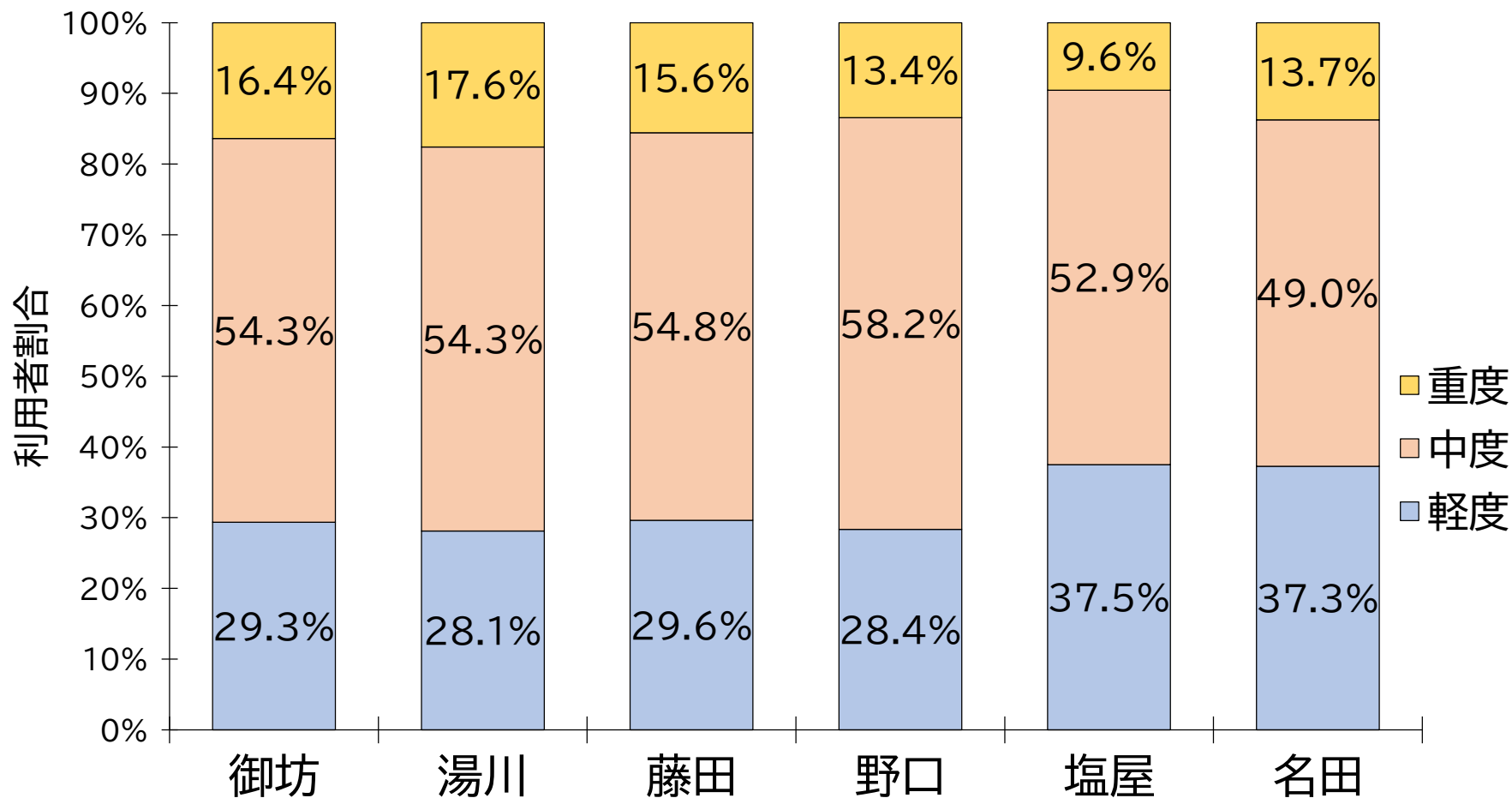
# 圏域別の障害像 4 区別の利用者割合



# 圏域別の「施設・在宅サービスのバランス」



# 圏域別の在宅サービス利用者の要介護度分布

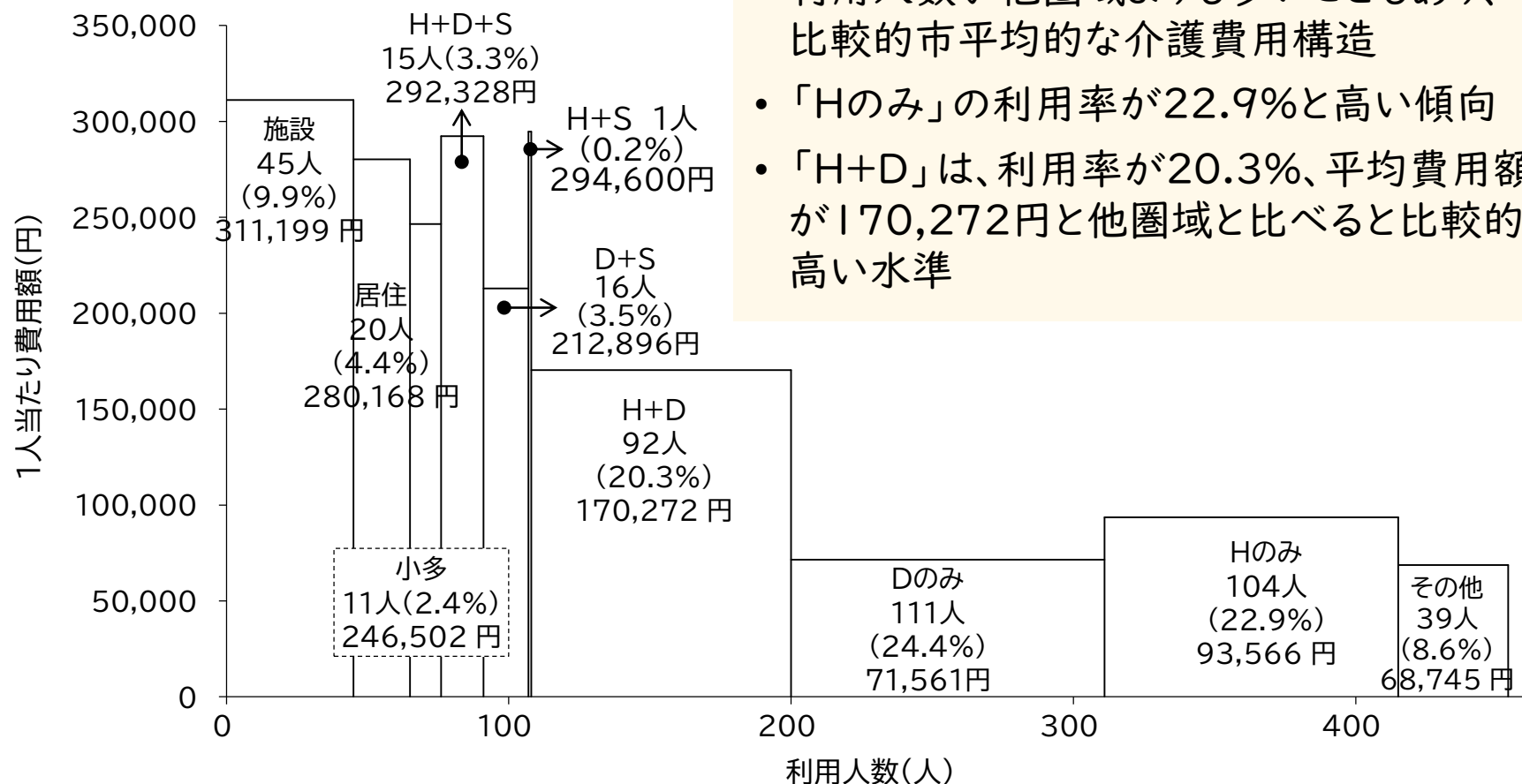


# 在宅サービス利用状況のポイント

- 1人当たり費用額が低いのは、湯川・塩屋・藤田。  
3圏域とも施設利用者割合が低い。  
なお、1人当たり在宅費用額が湯川、塩屋、藤田は平均より低い。ただし、藤田は、居住利用が最も多く、湯川は在宅利用者の重度者割合が最も高い。
- 野口では、在宅割合の重度者割合は高めではないが、1人当たり在宅費用額が平均より高く、施設利用割合も高い。
- 名田では、施設利用割合が最も高く、1人当たり在宅費用額が平均より低い。

# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

## 【御坊圏域】

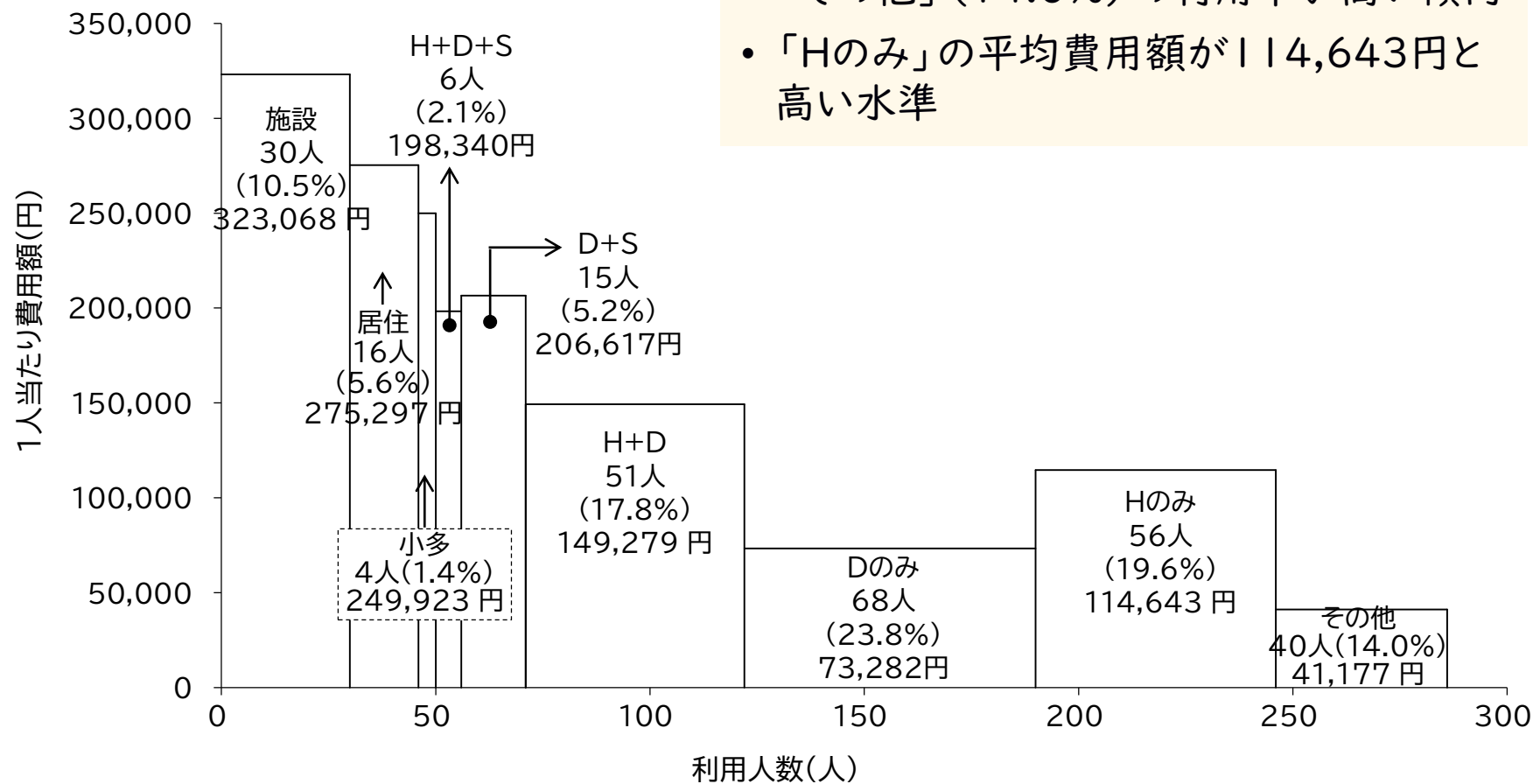


### 特徴

- 利用人数が他圏域よりも多いこともあり、比較的市平均的な介護費用構造
- 「Hのみ」の利用率が22.9%と高い傾向
- 「H+D」は、利用率が20.3%、平均費用額が170,272円と他圏域と比べると比較的高い水準

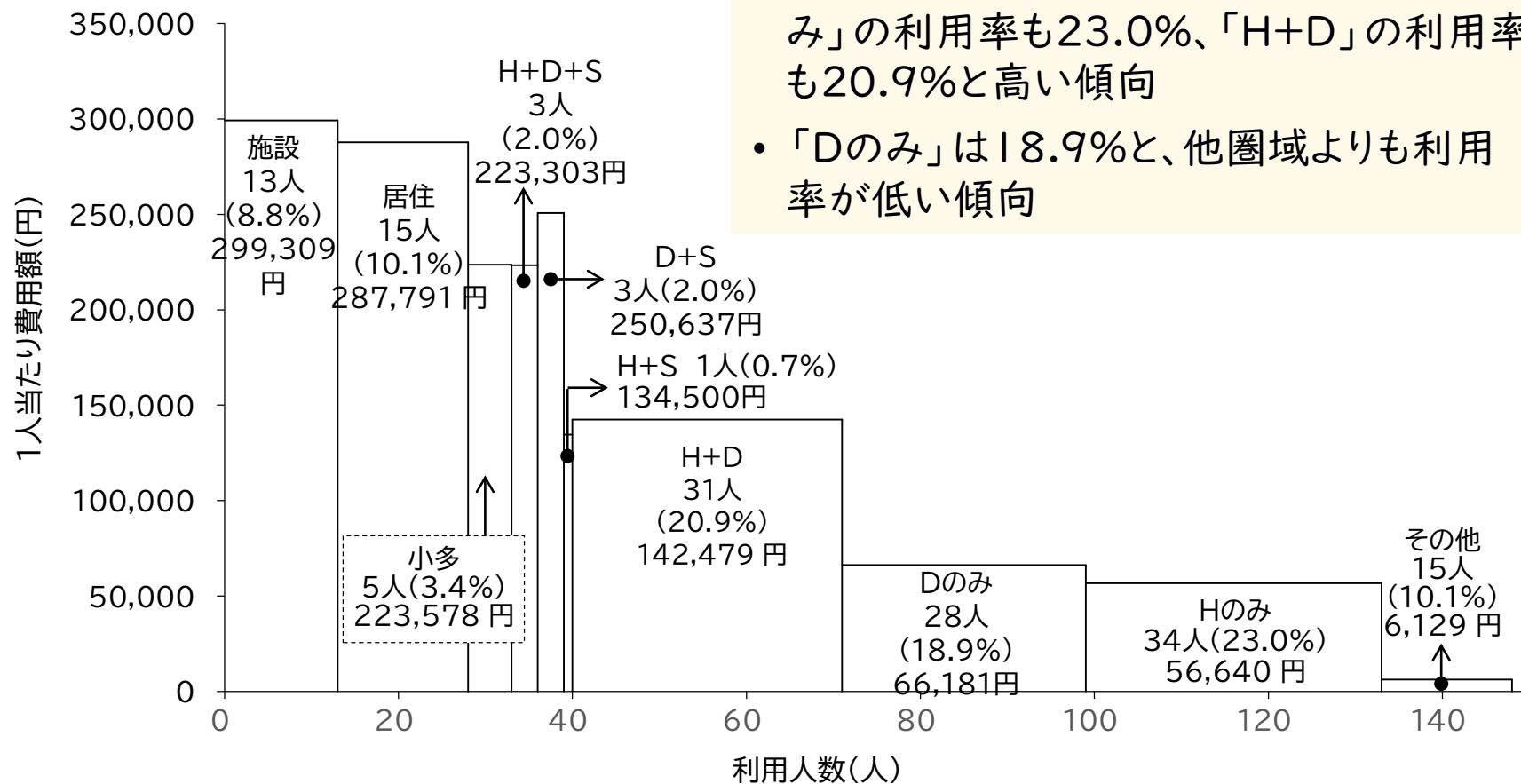
# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

## 【湯川圏域】



# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

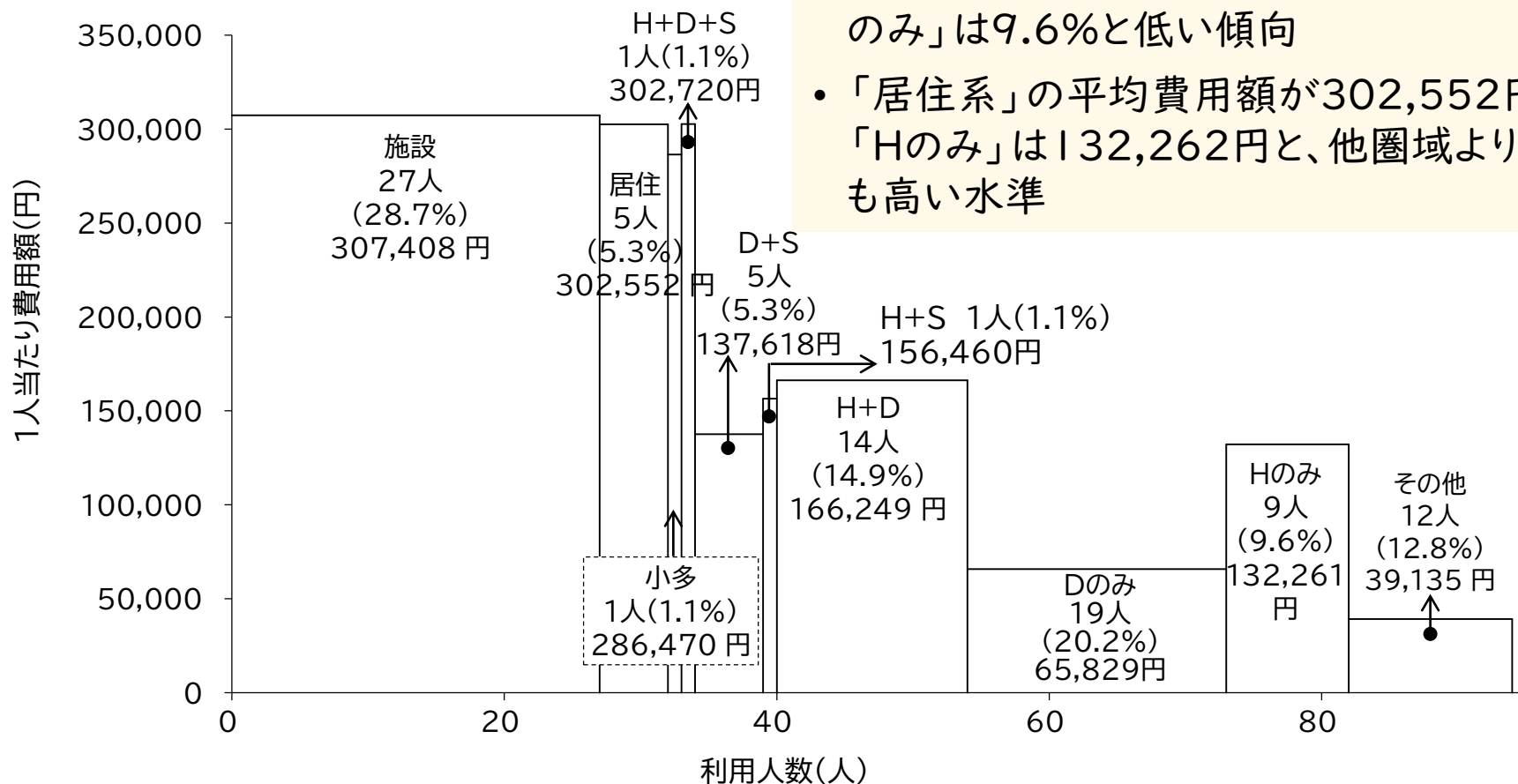
## 【藤田圏域】





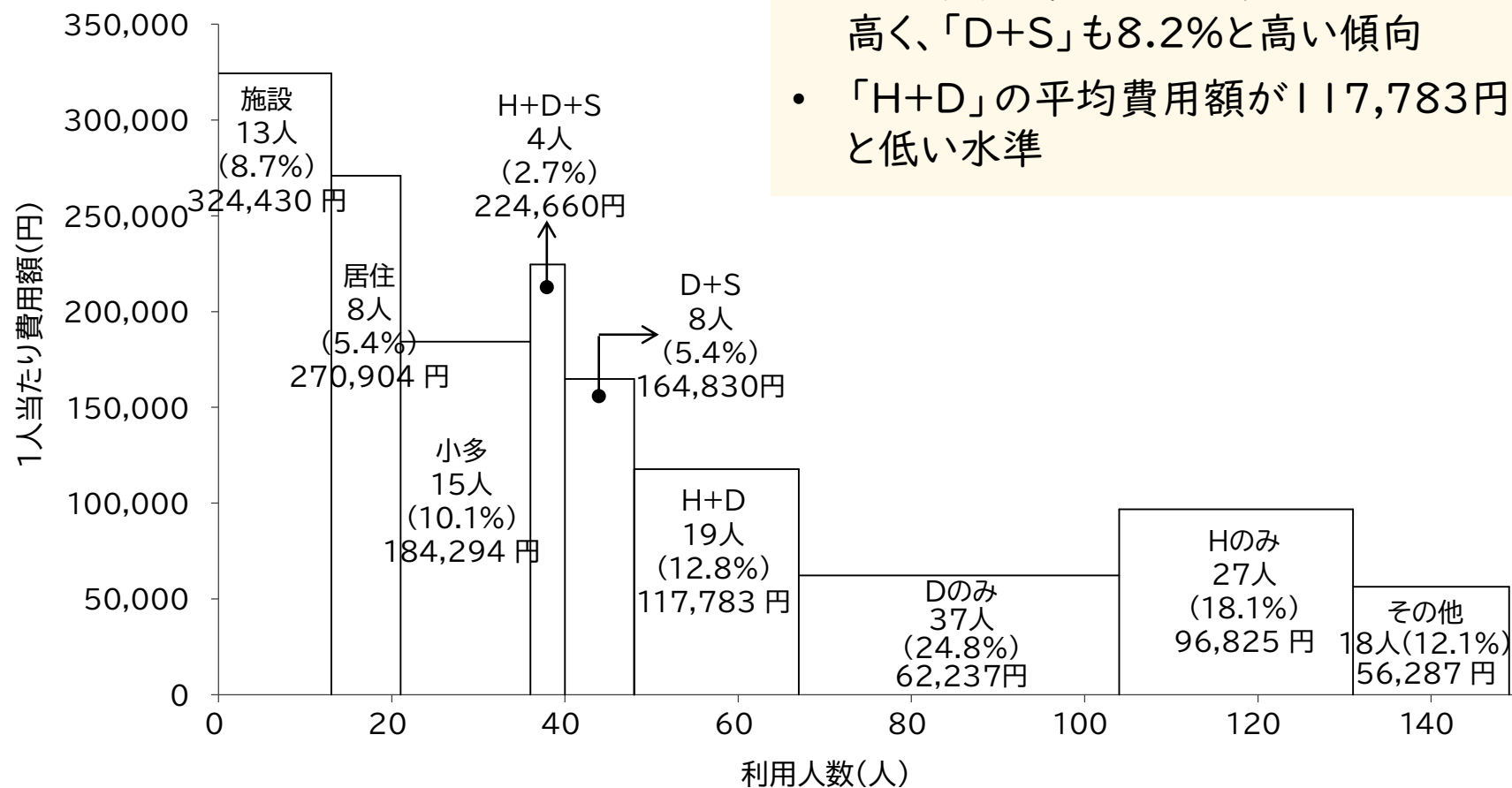
# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

## 【野口圏域】



# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

## 【塩屋圏域】



### 特徴

- 小規模多機能の利用率は10.1%と高く、「D+S」も8.2%と高い傾向
- 「H+D」の平均費用額が117,783円と低い水準

# 圏域別サービスパッケージによる介護費用構造

## 【名田圏域】

### 特徴

- 「施設」の利用率が39.6%と高いことによって、「H+D」は10.7%、「Hのみ」は8.3%、「D+S」は1.2%、と利用率が低い傾向
- 「Hのみ」の平均費用額が47,334円と低い水準

